JavaScript は、chrome、Edge、IE などのブラウザ上で動作するプログラムで、入力された値のチェックなどを行うために使用され、本システムを利用するためには「**有効」**に設定する必要があります。

各ブラウザの JavaScript の初期値は、「有効」に設定されています。通常は何も操作をする必要はありませんが、何らかの理由により「無効」に設定変更をしている場合は、「有効」に変更して頂けるようお願い致します。

尚、設定をシステム管理者などが一括管理を行う組織において、「無効」に設定されている場合は、「有効」に設定変 更を行ってもよいか否かを、システム管理者に確認をしてください。

目次

1.	Edge の場合	. 2
2.	Chrome の場合	. 4
3.	Firefox の場合	. 6
4.	IE の場合	. 7

1. Edge の場合

- ※ バージョン 92.0.902.67 を例に記載を行いますが、基本的な操作方法は全てのバージョンで同じです。
- ① Edge を起動して、画面右上の「・・・」ボタン(図中赤枠)を選択します。



2 表示された「メニュー」画面の「設定」(図中赤枠)を選択します。



③ 表示された「設定」画面の「Cookie とサイトのアクセス許可」(図中①)を選択し、右側に表示された「す べてのアクセス許可」から「JavaScript」(図中②)を選択します。

設定	すべてのアクセス許可 すべてのサイトに適用されるアクセス許可
Q 設定の検索	◎ 位置情報
☺ プロファイル	常に確認する
👌 プライバシー、検索、サービス	 カメラ
分 外観	常に確認する
🔄 [スタート]、[ホーム]、および [新規] タブ	.0. マイク
😢 共有、コピーして貼り付け	常に確認する
🔂 Cookie とサイトのアクセス許可	() エーション カンサーキたけ ※ わンサー
□ 既定のブラウザー ①	(・) モーション センサーよたは元 センサー サイトでのモーション センサーと光センサーの使用を許可する
⊥ ダウンロード	
👺 ファミリー セーフティ	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
A th 言語	
🛱 プリンター	JavaScript 2
Эдть	ノロック済め

④ 「サイトのアクセス許可/JavaScript」が表示されるので、右にスライドして「ON」(図中赤枠)にします。

設 5	と 設定の検索	÷	サイトのアクセス許可 / JavaScript	
8	プロファイル		許可 (推奨)	
Ċ	プライバシー、検索、サービス			
3	外観		ブロック	追加
	[スタート]、[ホーム]、および [新規] タブ		追加されたサイトはありません	
Ŕ	共有、コピーして貼り付け			
r.	Cookie とサイトのアクセス許可		許可	治力
6	既定のブラウザー		6° ГИ	
\downarrow	ダウンロード		追加されたサイトはありません	

以上で、Edge での設定は終了です。

2. Chrome の場合

- ※ バージョン 92.0.4515.131 を例に記載を行いますが、基本的な操作方法は全てのバージョンで同じです。
- ① Chrome を起動して、画面右上の「:」ボタン(点3つ)(図中赤枠)を選択します。



② 表示された「メニュー」画面の「設定」(図中赤枠)を選択します。

その他のツ	その他のツール				
編集	切り取り	コピ -	貼り付け		
設定					
ヘルプ			×		
終了					

③ 表示された「設定」画面の「プライバシーとセキュリティ」(図中①)を選択し、右側に表示された「プライバシーとセキュリティ」から「サイトの設定」(図中②)を選択します。

設定		۹	設定項目を検索	
•	Googleの設定	プライ	パシーとセキュリティ	
Ê	自動入力	î	閲覧履歴データの削除 問覧履歴、Cookie、キャッシュなどを削除します	•
	安全確認			
•	プライバシーとセキュリティ ①	٩	Cookie と他のサイトデータ シークレット モードでサードバーティの Cookie がブロックされています	۲
۲	デザイン		ヤキュリティ	
Q	検索エンジン	0	セーフブラウジング(危険なサイトからの保護機能)などのセキュリティ設定	•
	既定のブラウザ 2		サイトの設定 サイトが使用、表示できる情報(位置情報、カメラ、ポップアップなど)を制御します	•
ப	起動時			

⑤ 「サイトの設定」画面が表示されるので、「JavaScript」(図中赤枠)を選択します。



「JavaScript」画面が表示されるので、「<>サイトが JavaScript を使用できるようにする」(図中赤枠)
 を選択します。

設定		Q、設定項目を検索		
•	Google の設定	← JavaScript Q 検索		
Ê	自動入力	多くのサイトは、インタラクティブなビデオゲームやウェブフォームなどを表示するために JavaScript を使用		
٢	安全確認	します。		
•	プライバシーとセキュリティ	デフォルトの動作		
۲	デザイン	サイトにアクセスしたときにこの設定の動作を自動的に行います		
Q	検索エンジン	● 〈〉 サイトが JavaScript を使用できるようにする		
	既定のブラウザ	○ 💦 サイトに JavaScript の使用を許可しない		

以上で、Chrome での設定は終了です。

3. Firefox の場合

- ※ バージョン 90.0.1 を例に記載を行いますが、基本的な操作方法は全てのバージョンで同じです。
- ① Firefox を起動して、「URL 入力欄」に「about:config」を入力(図中赤枠)してリターンキーを押します。

诊 設定	
$\leftarrow \ \ \rightarrow \ \ G$	Q about:config

② 「注意して進んでください!」画面が表示されるので、「危険性を承知の上で使用する」ボタン(図中赤枠) を選択します。

注意して進んでください!
高度な設定を変更すると、Firefox のセキュリティ、パフォーマンスに深刻な問題を引き起こす恐れがあります。 ✔ これらの設定にアクセスするときは、警告を表示する
危険性を承知の上で使用する

 画面が切り替わるので、検索欄に「javascript.enabled」(図中①)を入力し、リターンキーを押します。
 現在の状態が「javascript.enabled」(図中②)に表示されるので、「false」の場合は「javascript.enabled」

 をダブルクリックし「true」に切り替えます。「true」の場合は、操作は不要です。

() javascript.enabled		🗌 変更された設定のみ表示する
javascript.enabled 2	false	n (

以上で、FireFox での設定は終了です。

4. IE の場合

- ※ バージョン 20H2 を例に記載を行いますが、基本的な操作方法は全てのバージョンで同じです。
- IE を起動して、画面右上の「歯車」ボタン(図中①)を選択し、表示されたメニューから「インターネット オプション」(図中②)を選択します。



② 「インターネットオプション」画面が表示されるので、「セキュリティ」タブ(図中①)を選択し、「インターネット」(図中②)を選択します。次に「レベルのカスタマイズ」ボタン(図中③)を選択します。



③ 「セキュリティ設定―インターネットゾーン」画面が表示されるので、「アクティブスクリプト」を「有効に

する」(図中赤枠)を選択します。

セキュリティ設定 - インターネット ゾーン	×
設定	
🗐 スクリプト 🔹	
写 Java アプレットのスクリプト	
○ ダイアログを表示する	
○ 無効にする	
● 有効にする	
SI XSS フィルターを有効にする	
○ 無効にする	
● 有効にする	
(第) アクティブ スクリプト	
○ タイアロクを表示する	
⑤ スクリノト Cの人ケータス ハーの更新を計りする	
 ● 無効に9 つ ○ 本計にする 	
*コンビューターの再起動後に有効になります	
カスタム設定のリセット	
リセット先(R): 中高 (既定) v リセット(E)	
0K 47720	

PC を再起動します。

以上で、IE11の設定は終了です。